

公益財団法人 全国学校農場協会 事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

公益財団法人 全国学校農場協会

<概要>

平成29年4月28日に第1回理事会を開催し、28年度の事業報告書の件、収支決算書の件について承認された。農業教育（農業技術）の発展と振興を図る事業（公1）として以下を行った。全国大会・支部大会での農業教諭による研究発表及び各界のリーダーをお招きしての講演会（環境省 大臣官房審議官 中井徳太郎先生他）を開催した。また農業教育研究協議会では農業教育に関する調査・研究成果の発表と協議及び石井食品株式会社 取締役会長 石井健太郎先生の講演をいただいた。

農業教育功労者表彰は全国138名の方に授与された。シンポジウムについては大学・各種団体の協力を得て、主催・共催・講演を含め4回開催した。学術・科学技術の振興を図る事業として全国7地区で農業実験実習講習会を実施した。この講習は教員免許状更新講習（6地区で実施・79人/143人）の選択領域を実施することについて文科省から認定されており143名の参加を数えた。農村文化・芸術・文芸に関する事業では、日本農民文学会との共催による全国農業関係高等学校エッセイコンテストを実施したところ全国から多くの応募があり福島県立会津農林高等学校 佐藤佳奈さんが最優秀賞に輝いた。原稿はホームページ上に掲載した。昨年度より日本棚田学会との協賛で始めた「農業関係高校フォトコンテスト」には81作品の応募があり、最優秀賞に栃木県立真岡北陵高等学校の木村紗弥香さんが決まった。また、里山音楽祭を埼玉で開催し、農業と芸術との近い関係について多くの方々を知っていただく機会となった。

認定4年目になるが事業計画書に予定された事業について多くの関係者の協力によって盛会裏に実施することができた。反省点・改良すべき点などを踏まえ、次年度に生かして行きたい。

公益財団法人全国学校農場協会の事業に関する報告や成果については平成29年3月発行の**第54号研究集録**内に詳しく掲載されている。

I 会員の動き

1) 協賛会員の状況（平成29年3月31日現在）

地区別協賛会員数

	27年度	28年度	増・減
北海道地区	401名	406名	+5
東北地区	896名	897名	+1
関東地区	1549名	1543名	-6
北信越地区	483名	482名	-1
近東地区	1111名	1106名	-5
中国地区	546名	542名	-4
四国地区	397名	402名	+5
九州地区	1321名	1303名	-18
本部個人会員	22名	25名(内7名は名誉会員)	
総数	6726名	6706名	-20

II 各種事業活動の実施報告

<農業教育（農業技術）の発展と振興を図る事業（公1事業）>

1) 研究発表及び教育行政・農政・学術・学際的講演による農業教育を推進する事業

*原則一般公開、開催・内容については本協会ホームページにて告知する。

講演（全国高等学校農場協会と共催）

講演1. 全国大会講演『環境・文明社会の創造と「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト』

環境省大臣官房審議官 中井 徳太郎 先生

講演2. 農業教育研究協議会講演「食の安全について—食品メーカーからみた最近の状況—」

石井食品株式会社 取締役会長 石井 健太郎 先生

当面する初等中等教育の課題

文部科学省初等中等教育局主任視学官 梶山 正司 先生

新規就農対策について

農林水産省経営局就農・女性課長 佐藤 一絵 先生

支部大会講演（全国高等学校農場協会支部大会と共催）

北海道支部	「Yahoo k・kマーケティングソリューションズ カンパニーエリア・オンライン」 Yahoo k・k 営業本部本部長	福山 広樹 先生
東北支部	「地方創生における教育の役割」 青森公立大学学長	香取 薫 先生
関東支部	「種苗産業の方向系と農業教育へ期待すること」 k・k サカタのタネ広報宣伝部部长	清水 英俊 先生
北信越支部	「農業者が新たな取り組みに挑戦する重要性とは～エネルギーと地産地消実践報告～」 k・k 開成代表取締役	遠山 忠宏 先生
近東支部	「環境創造型農業の推進ノウハウが教えてくれたもの」 兵庫県農政環境部農林水産局農業改良課参事	西村 いつき先生
中国支部	「地球を守る、農業と森林」 元衆議院議員・元出雲市長	岩国 哲人 先生
四国支部	「農業の本質を問い直す～農村的世界の価値をみつめて～」 哲学者	内山 節 先生
九州支部	「沖縄の自然資源をどう生かすか」 一般財団法人 沖縄美ら島財団理事長	花城 良廣 先生

全国大会研究発表

- ・「我が国の農業科学技術系人材を育成する農業科学教育プログラムの研究開発～SSH事業の実践と課題～」
北海道岩見沢農業高等学校 教 諭 松浦 直哉
- ・「プロジェクト活動における指導上の配慮や工夫について」
群馬県立勢多農林高等学校 教 諭 栗原 宏泰
- ・「地域とともに歩む研究会活動～SUISEI—FACTORYの3年間」
石川県立翠星高等学校 教 諭 安川 三和

支部大会研究発表（全国高等学校農場協会各支部と共催）

北海道支部	「時代の変化や地域の実態に即応した農業経営者育成に向けて」 北海道名寄産業高等学校	教 諭 高橋 英明
	「地域性を捉えたこれからの農業・環境に対応した取り組みとは」 北海道旭川農業高等学校	教 諭 須山 佳彦
	「農業高校における地域創生や地域文化保全に繋がる取り組みとは」 北海道倶知安農業高等学校	教 諭 西村 忠夫
	「生徒が積極的に取り組む学校農業クラブ活動を目指し、農業クラブ三大事業への指導実践はいかにあるべきか」 北海道中標津農業高等学校	教 諭 千代 武志
東北支部	「農業教育における原則履修科目の教科指導はどうあればよいのか」 青森県立弘前実業高等学校藤崎校舎	教 諭 三上 暁郎
	岩手県立花巻農業高等学校	教 諭 箱石 健
	福島県立修明高等学校	教 諭 高木 茂男
	「先進的で魅力のある農業教育の実践はどうあればよいのか」 秋田県立増田高等学校	教 諭 照井 梓
	宮城県立小牛田農林高等学校	教 諭 菅原 豊
	山形県立置賜農業高等学校	教 諭 鈴木 貴志
	「豊かな人間性を育み、生徒一人ひとりの個性の伸長を図るキャリア教育推進の農業教育はどうあればよいのか」 岩手県立千厩農業高等学校	教 諭 菅野 直樹
	福島県立磐城農業高等学校	教 諭 磯上 竜
	青森県立五所川原農林高等学校	教 諭 越谷 晋樹

	「生徒の実践的・創造的な態度・能力を育む農場運営はどうあるべきか」	秋田県立金足農業高等学校	教 諭	渡辺 均
		宮城県立加美農業高等学校	教 諭	山田 陽一
		山形県立村山産業高等学校	教 諭	後藤 弥生
関東支部	「群馬県動物系学科の取り組みについて」	群馬県立勢多農林高等学校	教 諭	小林 豊
	「本県農業関係高校における環境保全型農業の取組と J A S 法に則った本校の有機農産物の生産・販売活動」	静岡県立田方農業高等学校	教 諭	松井 正樹
	「総合学科の挑戦と生徒への動機付け・・・産業社会と人間の授業を通して」	山梨県立北杜高等学校	教 諭	塩野 哲男
	「地域のボランティアや教育資源を活用したアクティブラーニングの取組み」	栃木県立真岡北陵高等学校	教 諭	藤田 将輝
	「農業高校における進路指導と専門教育の関わり」	埼玉県立羽生実業高等学校	教 諭	矢島 英和
	「食品工業科における進路指導への取り組み」	千葉県立大網高等学校	教 諭	麻生 友也
	「園芸技術専修生制度」	東京都立園芸高等学校	教 諭	宮地 亮輔
	「鉾田農高での販売商品ブランドアップに向けての取り組み」	茨城県立鉾田農業高等学校	教 諭	尾沼 好記
北信越支部	「郷土愛を軸とした地域農業や地域社会を担う人材育成について」	長野県南安曇農業高等学校	教 諭	小池 晃
	「グローバルな視点を持った地域産業や地域社会との連携について」	新潟県立高田農業高等学校	教 諭	廣瀬 久人
	「生徒が夢や希望を持ち、地域社会の課題に取り組む農業教育の実践について」	石川県立能登高等学校	教 諭	大隅 博幸
近東支部	「栽培・飼育及び流通系科目の発展的な指導の実践について」	奈良県立山辺高等学校	教 諭	大賀健太郎
		滋賀県立長浜農業高等学校	教 諭	小森 恒夫
		大阪府立園芸高等学校	教 諭	中野 遼
	「六次産業化にむけた食品加工系科目の発展的な指導の実践について」	和歌山県立有田中央高等学校	教 諭	仲里 長浩
		岐阜県立郡上高等学校	教 諭	太田 公雄
		三重県立四日市農芸高等学校	教 諭	渡部 浩史
	「環境・ヒューマンサービス系科目における発展的な指導の実践について」	兵庫県立播磨農業高等学校	教 諭	上見 優子
		京都府立農芸高等学校	教 諭	細尾 勝
		愛知県立鶴城丘高等学校	教 諭	世良 安絵
	「農業教育における技術の継承・発展と先進農業技術の教育実践について」	大阪府立農芸高等学校	教 諭	土肥 正毅
		奈良県立磯城野高等学校	教 諭	山口 宏樹
		滋賀県立湖南農業高等学校	教 諭	胡子 揚歌
	「社会の変化に対応した新しい時代の農場運営について」	三重県立明野高等学校	教 諭	山本 朋伯
		和歌山県立紀北農芸高等学校	教 諭	中西 康治

	岐阜県立岐阜農林高等学校	教 諭	小川 正樹
	「新しい時代を切り拓く人材の育成をめざした学校農業クラブ活動の推進」		
	愛知県立田口高等学校	教 諭	市川 忠保
	兵庫県立農業高等学校	教 諭	森垣 岳
	京都府立桂高等学校	教 諭	小林 一洋
中国支部	「地域に根ざした食料供給・ヒューマンサービスを担う人材の育成を目指して」		
	山口県立田布施農工高等学校	教 諭	魚住 知一
	鳥取県立鳥取湖陵高等学校	教 諭	秋山 勝正
	「地域に根ざした環境創造・素材生産・バイオテクノロジー分野の人材の育成を目指して」		
	岡山県立新見高等学校	教 諭	青木 達也
	広島県立庄原実業高等学校	教 諭	金谷 智範
	「地域創生を担う人材の育成を目指して」		
	鳥取県立智頭農林高等学校	教 諭	中野 聡
	島根県立松江農林高等学校	教 諭	原 智美
四国支部	「地域社会に根ざした園芸流通科の取り組み」		
	愛媛県立伊予農業高等学校	教 諭	田村 芳貴
	「褐毛和種（高地系）における適切な使用管理法の研究」		
	高知県立幡多農業高校	教 諭	深水 敏秀
	「総合学科としての農業教育への取り組みと新学科設立に向けて」		
	徳島県立新野高等学校	教 諭	青木 満博
	「総合学科での農業科のこれまでの取り組み」		
	香川県立飯山高等学校	教 諭	西山 仁
九州支部	「島嶼地域の核となる人材育成を目指した取り組み」		
	沖縄県立八重山農林高等学校	教 諭	宮城 英雄
	「高千穂高校ならではの農業教育の展開」		
	宮崎県立高千穂高等学校	教 諭	堀 慎太郎
	「本校農場と地域環境を活用した教育活動の展開」		
	福岡県立福岡農業高等学校	教 諭	富永 能成
	「農場活用の現状と課題」		
	鹿児島県立鶴翔高等学校	教 諭	石原 勝博
	「本校の食料科学系列の魅力高める取り組み」		
	長崎県立大村城南高等学校	教 諭	廣瀬 英孝
	「地域と繋がる農業高校の商品開発の取り組み」		
	熊本県立阿蘇中央高等学校	教 諭	戸高麻梨子
	「専門性を活かした高校生の地域貢献」		
	大分県立日田林工高等学校	教 諭	江田 雅之
	「本校の農業土木教育の取り組みについて」		
	佐賀県立伊万里農林高等学校	教 諭	田中 裕
農業教育研究協議会での発表			
	植物系学科におけるインターンシップの取り組みに関する実態調査Ⅱ		
	神奈川県立吉田島総合高等学校	教 諭	小野 裕士
	動物系学科等における愛玩動物活用に関する調査		
	埼玉県立児玉白楊高等学校	教 諭	市橋 孝訓

2) 農業教育功労者表彰及び感謝状の贈呈

平成28年6月14日に農業教育功労者審査会を開催した。この表彰は申請から審査・授与まで農業教育功労者規程に基づき決定された。審査の結果本年度は全国138名の授与者であった。

平成28年度農業教育功労者表彰審査結果

支部	申請者数	合格者数	不合格者数
北海道	6	6	0
東北	16	14	2
関東	38	34	4
北信越	13	13	0
近東	36	34	2
中国	17	16	1
四国	3	3	0
九州	20	18	2
合計	149	138	11

審査委員

日置司明 森田恒夫 松戸多良 橋本倉司 風間龍夫 大橋幸男
田原良敏 戸塚厚生 岡本利隆 鈴木隆 田中平一

表彰

本会規定により平成28年度各支部大会で表彰した。

3) 農業教育・環境教育に関するシンポジウムの開催（共催）をする事業

○第4回農業女子フォーラム（主催）

平成28年12月17日(土) 愛媛県松山市 男女共同参画センター

講演 「地方創生の卵たちに告ぐー日本の里山で躍動せよー」

山下 由美 (企業組合津島あぐり工房代表理事)
花澤 友香 (花沢家族農園・菓子工房・花菓子代表)
田原 利恵 (hプロジェクト株式会社取締役)
沼尾ひろ子 (株式会社AXISDO代表取締役)

農業女子プロジェクトの紹介

久保 香代子 (農林水産省経営局就農・女性課)

アグリフィチャージャパンについて

岡部 由美子 (社団法人アグリフューチャージャパン業務部主任)

パネルディスカッション

コーディネーター 武山 絵美 (愛媛大学農学部 准教授)
パネラー 山下由美・花澤友香・田原利恵・・・農業女子
松川彩乃・三好智美・山下洵子・・・愛媛県農業高校生
武田梓歩・・・・・・・・・・農業大学生
スペシャルゲスト 松嶋匡史・・・k・k瀬戸内ジャムズガーデン代表取締役
オブザーバー 森元めぐみ・・・・・・・・・・伊予農業高校教諭

○「農」と里山シンポジウム～三富を未来に受け継ごう～（共催）

平成28年9月10日(土) 埼玉県三芳町 三芳町文化会館コピスみよしホール

基調講演「三富地域から循環型社会を考える」

講師 北野 大 (淑徳大学人文学部教授)

パネルディスカッション

「未来への遺産・三富地域を語る」・・・地域住民、地域中高生、一般参加者
司会・まとめ 古在 豊樹 (千葉大学名誉教授)

○環境と健康をラディカルに考えるオープンディスカッション3 (主催)

平成28年11月20日(日) 千葉県柏市 千葉大学環境健康フィールド科学センター
オープンディスカッション

「IT化が進む社会で私たちの「食」と「緑」は、どうなるか」・・・オープン参加
司会・まとめ 徳山 郁夫 (千葉大学名誉教授)

4) 学術及び科学技術の推進を目的とする事業

実験実習講習会及び教員免許状更新講習 (講習詳細は別添資料)

全国7地区で実施した。受講者は143名、このうち教員免許状更新講習対象者は79名であった。

○講習会概要と受講生数 [()は免許状更新講習対象者数]

- ・北海道地区「食品製造・畜産」 帯広畜産大学 受講者 21名(17)
平成28年8月1日(月)～8月5日(金)
講師：木田 克弥(教授) 中村 正(准教授) 平田 昌弘(准教授)
山下 慎司(助教) 渡辺 信吾(特任教授)
西部 潤(十勝農協連生乳検査センター研究員)
- ・東北地区「果樹・森林科学」 岩手大学農学部 受講者 14名(4)
平成28年7月25日(月)～7月29日(金)
講師：伊藤 菊一(教授) 井良沢 道也(教授) 小出 章二(教授)
立澤 文見(准教授)
- ・関東地区「農業と環境」 東洋大学板倉キャンパス 受講者 25名(9)
平成28年8月1日(月)～8月5日(金)
講師：食環境科学科 下村 講一郎(教授) 佐々木 和生(教授) 玉岡 迅(准教授)
健康栄養学科 飯島 久美子(准教授)
- ・北信越地区「食品製造・微生物利用」 新潟薬科大学応用生命科学部 受講者 19名(13)
平成28年8月22日(月)～8月26日(金)
講師：田中 宥司(教授) 浦上 弘(教授) 西田 浩志(教授)
重松 亨(教授) 井口 晃徳(助教)
- ・近東地区「農業と環境」 近畿大学農学部 受講者 31名(26)
平成28年8月1日(月)～8月5日(金)
講師：重岡 成(教授) 松田 克礼(教授) 江口 充(教授)
多田 稔(教授) 白坂 憲章(教授) 米谷 俊(教授)
細谷 和海(教授) 加藤 容子(教授) 財満 信宏(准教授)
野々村照雄(准教授)
- ・四国地区「食品科学」 愛媛大学農学部 受講者 18名(10)
平成28年8月1日(月)～8月5日(金)
講師：農学部 菅原 卓也(教授) 西 甲介(助教)
教育学部 岡本 威明(准教授)
- ・九州地区「畜産」 長崎県農林技術開発センター・農業大学校 受講者 15名(0)
平成28年8月1日(月)～8月5日(金)
講師：農林技術開発センター畜産研究部門主任研究員
深川 聡・永井 晴治・山崎 邦隆・橋元 大介
農業大学校畜産科 松尾 雄二(教授)

教員免許更新講習は6地区で実施し、更新に必要な30時間の内、選択領域の18時間分が文部科学省から認定されている。今年度、農業教諭以外からは昨年度同様の家庭科教諭に加えて栄養教諭の参加が若干名あった。

免許法認定講習（実習助手単位認定講習）（要請・協力事業）

実習助手の資質並びに農業技術力の向上を図ることを目的として、当公益財団法人より東京農業大学に開講を要請し、大学と文部科学省の連携事業として実施した。

○講習会概要と受講者数

東京農業大学 「職業指導」 1単位、「農業実習」 1単位 受講者 36名
平成28年8月22日（月）～8月27日（土）

講師：山口 正巳（教授） 小池安比古（教授） 馬場 正（教授）
篠原 弘亮（教授） 石川 忠（准教授） 石川 一憲（教授）
峰 洋子（教授） 鈴木 聡志（准教授） 平之内孝夫（非常勤講師）

今年度も受講希望者が多く、定員の関係から受講できなかった者が多数おり、今後も継続しての開講を望む声強い。

5) 調査研究

本公益財団研究局では6つの教育課程専門部会（植物系部会・動物系部会・食品系部会・環境系部会・流通・経営部会・ヒューマンサービス系部会）を設置し、農業教育に関する調査研究を継続的に行っており、現場での農業教育実践に生かされている。また、農業高校の特色ある取り組み・大学推薦入学に関する調査も行っている。これらの結果は農業教育研究協議会における研究発表や研究集録並びにホームページで公開している。

平成28年度研究報告・・・植物系及び動物系部会が農業教育研究協議会で発表。

平成28年度調査結果・・・教育課程に関する調査～科目「農業と環境」について

- ・農業系高校での特色ある取組について
- ・大学推薦入試に関する調査

（研究集録：平成28年度54号参照）

6) 農業学習ノートの作成

小・中学校の総合的な学習の時間及び技術家庭科の副教材として、また、高校農業科目「農業と環境」の補助教材として農業学習ノート「トウモロコシ」1,000部を作成、平成30年度からの普及を目指して全国の各関係機関に無料で配布した。現在、多数の問い合わせが寄せられている。

7) 地域文化（文化・芸術・文芸）振興に関する事業

全国農業関係高等学校エッセイコンテストの実施

日本農民文学会との共催によるエッセイコンテストを実施した。今年で8回目を迎えた。全国の農業系高校より15作品（校内で厳選して応募）の応募があり厳正な審査の結果、以下の様に入賞者が決定した。入賞者には賞状並びに賞品を授与した。

平成28年度最優秀賞	「私が描く明日の農業」	福島県立会津農林高等学校	佐藤 佳奈
優秀賞	「馬とともに生きていく」	東京都立農芸高等学校	大澤 萌
	「尾瀬戸倉温泉を活性化させ、地域を興す」	群馬県立利根実業高等学校	萩原 健輔
	「思い出の親子丼」	群馬県立安中総合学園高等学校	穴津子賢人
	「私が目指す夢のカタチ」	長崎県立諫早農業高等学校	西村 郡
	「郷土の未来のために私ができること」	長崎県立諫早農業高等学校	濱本 恵

なお、審査会を平成29年1月11日に、1月25日にホームページで発表した。

審査委員は下記の通りである。

野中 進（日本農民文学会会長）
日置 司明（公益財団法人全国学校農場協会理事長）
岡本 利隆（全国高等学校農場協会会長）
田中 平一（公益財団法人全国学校農場協会事務局次長）

第2回農業関係高等学校 農業・農村写真コンテスト

生徒の部	最優秀賞	「また明日」	栃木県立真岡北陵高等学校	木村紗弥香
	優秀賞	「cloud in Tanbo」	福島県立田島高等学校	星 樹
		「田んぼを眺める二人」	栃木県立真岡北陵高等学校	保坂 亮太
		「夕日の田んぼ」	栃木県立真岡北陵高等学校	氏家 尚希
		「田植え実習」	岡山県立高松農業高等学校	石井 秀英
職員の部	優秀賞	「棚田のある風景」	福島県立田島高等学校	石橋 信吾
		「力をコメ、願いをコメ」	福島県立相馬農業高等学校	齋藤 勇樹
		「学年を越えて」	栃木県立真岡北陵高等学校	山本 武史
		「初めての田植え」	群馬県立藤岡北高等学校	布目 紀佳
		「私と仔牛は両思い」	福岡県立糸島農業高等学校	畠添 和広

里山芸術祭の開催

○里山讃歌音楽祭KAWAGOE2016（後援）

平成28年12月23日 川越市・ウェスタ川越大ホール

里山讃歌音楽祭は今回で5回目を迎えた。川越市内の農業系高校である川越総合高校と音楽系大学である尚美学園大学が「農と音楽」の交流の成果を発表するために高大連携事業の一環として始まった演奏会である。音楽祭は年々充実してきており本年は市内から多くの高校生が参加してくれた。音楽を通して多くの皆さんへ武蔵野里山の魅力と大切さを伝える機会ともなっている。

プログラム

- 指揮・後藤 文夫 トロンボーン独奏・吉田 美月 ソプラノ・細谷 優香 バリトン・室岡 大輝
・モーツァルト「ディヴェルティメント」Kv 136
演奏：尚美学園大学サクソフォン・オーケストラ
・プライヤー「スコットランドの釣り鐘草」によるアリアと変奏曲
トロンボーン独奏：吉田 美月
・吹奏楽大編成によるレスピーギ交響詩「ローマの松」
指揮：後藤 文夫/演奏：尚美ウインド・フィルハーモニー、埼玉県立川越南高等学校吹奏楽部
・埼玉県立川越総合高等学校による演奏「里山の怪異」
作詞作曲・指揮：松山 太郎/演奏・合唱：埼玉県立川越総合高等学校吹奏楽部他
・オルフ 世俗的カンタータ「カルミナ・ブラーナ」
指揮：後藤 文夫/演奏：尚美ウインド・フィルハーモニー/合唱・尚美学園大学と市民による合唱団

8) 広報活動

本公益財団の広報活動は新聞並びにホームページによる。

・「公益財団法人全国学校農場協会新聞」の発行

年4回の発行。各会員に郵送している。主に本公益財団法人の事業について報告及び予定が中心である。

・ホームページ

本公益財団の事業・会計内容を含む公益財団の概要を掲載すると共に会員及び広く一般の方に対して農業教育に関する研究成果の公表、研究会・シンポジウム等の告知、協力他団体との情報公開などに努めている。

Ⅲ 公益財団法人理事会・評議員会の開催状況

1) 理事会

平成28年5月11日(水) 農場協会会館 平成27年度事業報告・収支決算書(承認)
平成28年度事業計画案・収支予算書案(承認)

		各種規定の検討について 監査結果報告 その他連絡事項の連絡
平成28年8月26日(金)	農場協会会館	平成28年度事業執行状況について 各種規程検討のその後の経過について
平成28年11月9日(水)	農場協会会館	平成28年度予算執行状況と監査結果(承認) 平成28年度事業の開催予定と内容について(フォーラム・シンポジウム) 農業教育研究協議会の対応について 農業実習助手の免許法認定講習の報告(実施:東京農業大学)
平成29年1月13日(金)	農場協会会館	監査結果報告(8月~10月) 各種規程の検討状況について
平成29年2月11日(金)	農場協会会館	平成29年度農業女子フォーラム(愛媛開催)について 理事会での議事の取り扱いについて 平成29年度実施の事業の検討について 第8回エッセイコンテスト審査結果について 公益財団法人の理事・評議員の任期満了に伴う改選について 外部立入検査予定及び監査結果報告

2) 評議員会

平成28年6月10日(金)	農場協会会館	平成27年度事業報告・決算書について審議し承認された。 平成28年度事業計画書・予算書について審議し承認された。 その他理事会での決議事項並びに年度内に実施した事業の状況を詳細に報告し了承を得た。
---------------	--------	--

3) 監査会

平成28年度は、5月11日、8月26日、11月9日、平成29年1月13日、2月11日に実施、理事会で事業・予算について監査報告。

尚、平成28年度監査については、理事会開催当日に監査を行い、その都度岡本監事または松戸監事から実施された事業・決算ともに適正であるとの報告を得た。

IV 収益事業

1. 家賃収入事業

本公益財団法人は所有ビル1階部分を2店舗(和・White Space Labo)に賃貸した。